

第 65 回京都大学 11 月祭全学実行委員会

2023 年 5 月 25 日（木）

【注意事項】

- 注意 1 本会議のレジュメは、11 月祭公式 Web サイト (<https://nf.la>) に掲載されております。ユーザー名およびパスワードは、事前に連絡したものをご利用ください。
- 注意 2 本会議のミーティングの URL やパスワード、レジュメ掲載ページのユーザー名やパスワードなどを他者に共有する行為は行わないでください。
- 注意 3 発言を希望する際には挙手をしてください。議長が発言者を指名するので、指名されてから発言してください。
- 注意 4 発言時には、企画名あるいは団体名と、氏名を述べるようにしてください。議事録作成中は、発言者を企画名あるいは団体名、氏名で記録しますが、閉会後に議事録が共有される際には、委員長および全学実行委員会内の組織、全学学生自治会同学会内の組織を除いては、アルファベットなどで置換します。
- 注意 5 本会議の円滑な進行を妨害する行為が確認された場合、当該行為を行った者に対して、委員長が退場を命じることがあります。
- 注意 6 本会議において、会議参加者に無断で録画・録音する行為は禁止されています。
- 注意 7 議決・承認は、対面参加者は拍手で行います。
- 注意 8 議決・承認後に離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては個別に判断します。

【zoom 参加者】

- 注意 9 表示名は、「企画名_氏名」あるいは「団体名_氏名」としてください。
- 注意 10 発言時以外は、マイクをミュートに設定してください。
- 注意 11 議決・承認は、Zoom の「手を挙げる」機能を使用して行います。
- 注意 12 議決・承認において、離席者が存在するために会議参加者の一部または全部からの応答が得られない場合には、応答がない者を除いて議決・承認を行います。ただし、議決・承認後に、当該離席者からの意見があれば、受け付けるものとしますが、その扱いについては、個別に判断します。
- 注意 13 本会議は、本日 21:00 には、閉会します。

第 1 回 議事録

開会時刻 19:30

閉会時刻 20:46

委員長：開始する。昨年度の全学実行委員長の並木である。(注意事項読み上げ)。「第 65 回京都大学 11 月祭全学実行委員会への提案」のレジュメ参照。1.議事案について何かあるか。

事務局：議事(5)が終わった後、関係者以外の事務局員の退席を求める。

委員長：他に何かあるか。ないようなのでこの議事案で進める。全学実行委員会結成について異議のある方はいるか。承認される方は挙手・拍手を。反応がないので承認とする。

委員長：全学実行委員長への立候補、推薦はあるか。

事務局：事務局は全会一致で理学部 3 回生池田篤史を推薦する。

委員長：異議はあるか。採決に移る。承認の方は挙手・拍手を。承認された。議長を交代する。

(議長交代)

委員長：ただいま委員長に選出された、理学部 3 回生の池田である。これから議長を兼任して良いか。賛成の方は挙手・拍手を。承認された。

委員長：(3)事務局の結成に移る。

事務局：今年度は事務局員全員が自己紹介をする形で承認をいただきたいと思う。まず、欠席者を読み上げる。続いて、出席者が名前、学部、回生を読み上げる。(読み上げ)

委員長：承認して良いか。承認された。(4)全学実行委員会の性格に移る。レジュメの 2 番を参照。以上の案について、ご異議・ご質問等はあるか。賛成の方は挙手・拍手を。承認された。

委員長：(5)事務局の任務およびその基本姿勢に移る。レジュメ 3 番参照。以上の案について、ご異議・ご質問等はあるか。賛成の方は挙手・拍手を。全員の賛成が得られたので承認された。

委員長：先ほどの事務局の提案の通り、関係者以外の事務局員に退出を求める。

(関係者以外の事務局員の退出)

委員長：(6)諸確認点に移る。レジュメの 4 番を参照。以上の案について、ご異議・ご質問等はあるか。賛成の方は挙手・拍手を。承認された。

委員長：続いてレジュメの 5 番を参照。以上の案について、ご異議・ご質問等はあるか。賛成の方は挙手・拍手を。承認された。

委員長：(7)昨年度決算に移る。

事務局：別紙 1 を参照。読み上げ。

委員長：以上の報告について、ご異議・ご質問等はあるか。賛成の方は挙手・拍手を。承認された。

委員長：議事(8)に移る。

事務局：レジュメ(7)を参照。読み上げ。

委員長：以上の案について、ご異議・ご質問等はあるか。

A : 例年は木曜日～日曜日が本祭、月曜日が片付け日だったと思うが、日曜日の本祭が棄却されたということか。

事務局：例年木曜日～日曜日というわけではないが、第 65 回に関してはそのような提案をした。

A：休講日の関係からと棄却されたということだが、月曜日が片付け日として認められないということと合っているか。

事務局：その認識で良い。

B：次回の日程は、今回棄却されてこの日程になったということだが、今後大学と交渉して、全学実行委員会で承認された日程通りにすることは考えていないか。

事務局：今回はあくまでも大学からの棄却の報告である。ただ、アカデミックカレンダーの都合上、本日の会議で承認したいと考えている。来年度以降も対話の場を設けてもらえるよう、早く動いていく。

B：承知した。昨年もあったと思うが、今年の全学実では 67 回の日程を決めると思うが、アカデミックカレンダーを理由にされないように、ぜひ木曜日～日曜日で開催できるように、早めの交渉をお願いしたい。

事務局：事務局としても早めに動いていきたい。

委員長：この日程に賛成の方は拍手、挙手を。

委員長：ご異議・ご質問の内容を詳しく教えてほしい。

A：大丈夫である。

A：全会一致では無く賛成多数ではないか。

委員長：この全学実行委員会では全会一致を原則としている。

A：それでは賛成に転じる。

委員長：この日程に賛成の方は拍手、挙手を。承認された。

委員長：議事(9)に移る。事務局の方お願いする。

事務局：別紙 2 を参照。読み上げ。

委員長：この案にご異議・ご質問等あるか。

北祭実：こちらの提案は 11 月祭だけの全面禁酒ということか。

事務局：その認識で良い。

北祭実：この議決案が京都大学における他の祭典の禁酒の理由にならないことを議決内容に付け加えてほしい。

事務局：承知した。それでは、その文言を追記して後ほどレジュメを挙げ直す。

委員長：この議題は後に回す。議事の(10)諸提案に移る。

B：(9)で挙手を見逃されたが、そちらの話をして良いか。

委員長：お願いする。

B：11 月祭での全面禁酒の提案だが、反対する。北部祭典は規制をしていないと思うが、北部祭典で大丈夫なのであれば、NF でも大丈夫なのではないかと感じる。また、別紙にあるように過去の被害はあったと思うが、軽視するわけではないが、このような問題に対応してお酒を出せる楽しい祭にしていきたいと思っている。このような中で禁酒のダメージは大きい。病院のひっばく状況などはあるかもしれないが、禁酒がスタンダードにならないようにすべきだと思う。

事務局：少々時間をいただきたい。

事務局：1 点目について、北部祭典と比べて来場者数や、京都大学の祭としてのイメージが強いこともあ

る。今年会場の範囲を広げる予定だが、その中で一気にお酒もありにすると、来場者と事務局員の安全を確保できないと考える。

B : 昨年の様子を見ていると、飲酒規制や入場規制がある NF と比べるとそれらや抽選もない北部祭典の方が魅力的だと思う。このまま縮小・禁酒になっていくと、京都大学の祭のイメージは北部祭典の方が強くなるのではないかと懸念している。その上で、コロナが終わって規模を再拡大していく上で、お酒の議論は慎重に行われるべきだと思う。

事務局：本日承認を取りたい議題案があるため、後の議題を先に回しても良いか。

B : 問題ない。

委員長：それでは後の議題を先に回す。(10)諸提案に移る。

事務局：レジュメの9番を参照。読み上げ。

委員長：以上の提案について、ご異議・ご質問等あるか。承認の方は挙手・拍手を。齋田さんは何かあるか。あればミュートを外して発言を。全員の挙手が確認されたので、承認とする。

委員長：(11)諸決議に移る。レジュメの10番を参照。以上の案について、ご異議・ご質問等あるか。賛成の方は挙手・拍手を。全員の挙手が確認されたので、承認とする。

委員長：他に提案などはあるか。全面禁酒については後で扱う。

北祭実：京都大学全学自治会同学会から、学生らによる自主的主体的11月祭宣言の代読を依頼されているので読み上げる。(読み上げ)

委員長：ご異議・ご質問等あるか。賛成の方は挙手・拍手を。離席者を除いて、全員の賛成が得られたので承認とする(D 離席)。他に何かあるか。それでは全面禁酒の議題に戻る。Bさんからの意見について事務局の方は何かあるか。

事務局：一度事務局内で検討するので、ご意見のある方はこの場で発言してほしい。

C : 別紙2の全体を見て1~3の3つを基準に考える。1について、61回での報告が多く、サンプリングの問題もあると思うが、全面禁酒を実施したことにより屋内破損の件数が減ったのは言い過ぎだと思う。2について、暴行等は61回の報告がないのであれだが、59回の部分禁酒でも起こっている。3については搬送者数が明らかに全面禁酒によって減ることは言える。59回の部分禁酒で最多なのは違和感があるが。禁酒を行うことでどれだけNFにメリットがあるのか、それは禁酒によるものなのか、デメリットと比較してどうなのかを議論する必要がある。

北祭実：全面禁酒になった場合は、11月祭期間でないイベントについても影響を与えないとしてほしい。

委員長：議事録の承認に移る。

(画面スクロール)

委員長：ご異議・ご質問等あるか。承認に移る。賛成の方は挙手・拍手を。全員の賛成が得られたので承認とする。他に全体を通して何かあるか。何もないようなので本日の全学実行委員会を終了する。